

佐渡市総合計画 市民意見交換会（概要版）

分類	意見内容	回答
理念と将来像	理念や将来像にある「島」という言葉が気になります。「佐渡」を入れて欲しいです。「島」を強調するよりも「佐渡」を強調していただきたい。その他同類質問：1件	「島」の表現については、基本構想も含めて審議会で決定した経過がございますので、ご了承いただきたいと思います。
理念と将来像	3ページの基本理念と将来像について、「独特の文化」とありますが、佐渡の文化は、金山の開発だけでなく、貴族文化・武家文化・町人文化など、多様な影響によって現在の文化になったものだと思います。文面を直した方が良いと思います。	配布した概要版は、意見交換会用として総合計画をシンプルしたものです。総合計画には、いただいたご意見を織り込んで記載してございます。
重点的・横断的な取組	5つの重点項目については、基本計画の冒頭に示されており、ただの網羅的な計画では、何をめざすのかがわからなくなってしまうところを、横断的に取り組む5本の柱を示したことは総合計画の考え方として意味があると思います。ただ、もうすこし5つの重点的な取り組みとそれぞれの実行計画との整合性を明確にしていく必要があるのではないのでしょうか。	分野別の取組に関してはそれぞれの分野に特化した課題や解決策を掲載させていただいています。その中で5つの重点的・横断的な取組に関しては、例えば子育て支援であれば子育てだけが問題ではないというなかで、交通安全や雇用機会などを全体的かつ横断的に見ることで子育て環境の推進が図れると考えています。
重点的・横断的な取組	重点的取り組みとして地域循環共生圏が掲げられたことは大変画期的です。メガソーラー、洋上風力が注目されがちですが、バイオマス等の市民参加型の小規模なものにもっと光を当てていただきたい。いずれにせよこの5つの横断的な取り組みを柱とし、強力に押し出しながら総合計画を推進するのがいいと感じています。	現在、県と共にエネルギーの島構想を進めています。また、市の個別計画として地域エネルギー計画も進めています。最終的に目指すところは洋上風力かもしれないですが、ソーラー、バイオマスなど、小規模なものも含めて、佐渡でベストミックスとなる組み合わせを探しているところです。
重点的・横断的な取組	防災減災の強化の成果指標について、災害による死亡者数という数値は災害がなければ0になってしまいます。実施計画で細かく設定されていれば問題はないと思いますが、その辺りについて説明していただきたい。	指標の選定に私たちも非常に悩んだ部分です。防災意識の向上と防災教育の推進、自主防災組織の育成、緊急情報伝達システムの構築、これらがすべて防災減災機能強化の施策の柱になっており、それぞれ目標値を設定しています。横断的な取組の中での指標については、全体の大きな目標値として設定しました。
施策1-1 防災・減災機能の強化	障がい者を想定した災害訓練をやる必要があるのではないのでしょうか。方針を掲げているだけで全く前に進んでいないと思います。中越地震の際は、認定介護士や装具を販売している会社など関係者のネットワークで必要な道具をそろえ、ストーマの着用者に対応したと聞いています。そのような仕組み、受け入れる器を佐渡市も作っておく必要があると思います。	高齢者もそうですが、障がい者も災害時にすぐに避難ができない方がいらっしゃいます。このため、一番住民の近くにある支所・SCが主となって各地区の避難計画を作成するよう進めています。市内のストーマ販売業者等に、災害時の供給体制や可能な支援・協力体制について相談をしたいと考えています。
施策1-4 交通体系の充実	交流人口の拡大に向けた交通の充実とあるが、具体的な施策について教えてほしい。	空路については、トキエア就航による定期便再開や佐渡空港2,000m化などについて、県と一緒に取り組んでまいります。
施策1-5 道路施設等の整備	歩行者の安全性確保のため、道路整備と併せて歩道と信号の整備について検討していただきたい。	道路整備における歩道設置については、交通量や安全性を検討し、必要に応じ整備していきたいと考えております。また、信号機設置については、警察署及び公安委員会と協議のうえ進めてまいります。

<p>施策1-8 都市計画の推進</p>	<p>施策8都市計画の推進の中に、2都市再生整備事業（相川地区）とありますが、概要を説明していただきたいです。 用地を民間に売却、きらりうむの建設、学校給食センター、建設中の子ども園、西警察署の跡地など、これからどうするのかということの説明をいただきたい。</p>	<p>相川地区の都市再生整備事業はどちらかという世界遺産に関連した散策路等について記述しております。来訪者のイメージアップ、世界遺産にふさわしい散策路を整備したいというものです。西警察署跡地は、おそらく県の方で進めているものと思います。旧相川支所の土地は、内部で検討していますが、まだ結論は出ていない状況です。世界遺産等を含めた中で検討させていただければと考えています。</p>
<p>施策1-10 脱炭素・持続可能社会の推進</p>	<p>脱炭素社会の実現について、具体的な施策や方向性を教えてほしい。その他同類意見：1件</p>	<p>現在、エネルギーの島構想を新潟県と一緒に策定しています。化石燃料を使った発電をできるだけ減らしていく取り組みを計画しており、2050年を目指したロードマップを策定していきたいと考えています。</p>
<p>施策2-2 健康づくりの推進</p>	<p>SIZE S（サイズエス）という名称は、一般的でなく、注釈もついていないので分かりません。</p>	<p>SIZE Sについては本編にて用語解説で対応させていただきます。肥満・欠食について、家族ぐるみや地域全体で食・運動習慣の改善等に取り組むための普及啓発活動です。事業名であるため、原案の通りとさせていただきます。</p>
<p>施策2-5 障がい者福祉の充実</p>	<p>障がい者の在宅就労を支援しているNPO法人が、パソコンのスキルに特化した支援施設を展開しています。そのような法人と連携して、在宅就労の支援事業所を佐渡市の主催で佐渡に立ち上げて福祉のモデル都市にしてほしい。</p>	<p>詳しい事実関係を承知していないため、持ち帰って調査をさせていただき、連携することができるかどうかを考えさせていただきたいです。事業所の立ち上げは難しいかもしれないが、連携は考えられるかもしれないです。ご意見に感謝いたします。</p>
<p>施策4-1 農業の振興</p>	<p>農業振興について、農業就業人口をどうするか、水稲や園芸はどうするか、そうした大きな目標が必要なのではないのでしょうか。また、県は強かに園芸振興を進めていますが、この計画の中に園芸の部分が全く出て来ません。国県に沿った政策を推進すべきだと思います。その他同類質問：1件</p>	<p>園芸の振興が一切出てないというご意見について、持ち帰った上で、どういう書きぶりができるか担当課と協議をしたいと思います。 《後日、農業政策課からの回答》 農業振興を図る上では、水稲や園芸、また畜産も含め、地域の実情や特色に合わせた営農体制づくりと担い手の確保が重要であることから、それぞれ成果指標としたところです。新規就農者については、毎年20人を目標としています。 また、国が示しました、みどりの食料システム戦略に掲げる低炭素社会の実現に向けた推進項目についても、指標とさせていただきます。 園芸品目の1億円産地化につきましては、新潟県園芸振興基本戦略に基づき、JA等の関係機関と連携しながら、取組を進めてまいります。</p>
<p>施策4-1,2 農業の振興 林業の振興</p>	<p>総合計画にも農業の振興、林業の振興とありますが、具体的なことを掘り下げて具体的な形で進めていただきたい。</p>	<p>総合計画の基本計画では、5年間の方針や主な取組が記載されております。具体的な内容については、個別計画に取組が書かれております。</p>
<p>施策4-5 観光の振興</p>	<p>観光について、佐渡には豊かな自然があるので、世界遺産に頼らず、自然を生かした観光誘客を推進してはどうでしょうか。</p>	<p>サイクリングなどアドベンチャーツーリズムや、文化・スポーツツーリズムを積極的に展開するとともに、佐渡島を訪れる方に低炭素社会を感じてもらう取組を推進しつつ、「暮らすように旅をする」滞在型観光を図ります。</p>
<p>施策4-7 雇用機会・就労環境の充実</p>	<p>繁忙期などが異なる業種の複数の事業者が連携して、事業協同組合を活用できれば、担い手不足の解消やU・Iターンの増加による社会減の防止などの課題解決に寄与できると考えています。発足のために制度活用の趣旨を理解し、支援・協力をいただきたい。</p>	<p>事業協同組合については、非常に有効な制度であると受け止めています。運用の実態も少しずつ見えてきており、通年を通じて雇用をされる方については島外から来た方が基本となると聞いています。前向きに取り組んでいきたいと考えています。</p>

<p>施策4-8 移住定住の促進</p>	<p>7ページの移住定住の推進について、どういう情報発信を具体的にするのか、どのようにサポートするのか。アイデアではなく、具体的なやり方をどうするのかということが大切です。</p>	<p>総合計画では具体的なところまで書き込みはされていません。同時に策定を進めている「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、有効な情報発信や分野・横断的な取組などを記載し進めてまいります。</p>
<p>施策5-1 市民参画と協働による地域づくりの推進</p>	<p>市民との協働について、総合計画を市民にどのように伝えるのが大切です。市民も暮らし方を変えないと総合計画で目指す佐渡市につながらないと思う。</p>	<p>市民に伝えることは大切だと認識しております。現在、パブリックコメントを実施していますが、市民の関心の薄さも課題だと感じております。若い人にも関心をもってもらえるよう、SNSなども活用し、市の課題や考え方を共有し政策を進めていきたいと考えております。また、職員、特に市民の皆さまに接することの多い支所・サービスセンターの職員にも浸透するように取り組んでまいります。</p>
<p>施策5-5 行政運営・財政運営の推進</p>	<p>行政改革について、行政サービスが低下しており、満足している・やや満足しているが19%となっています。どのようにして満足度を上げるのか説明していただきたい。</p>	<p>満足度の向上に向けて、デジタル・ICTを活用した市民サービスの向上、職員の業務縮小というところで、デジタル推進室といった部門をつくって対応していきたいと考えています。</p>
<p>施策5-5 行政運営・財政運営の推進</p>	<p>デジタル化のために組織作りをすると理解してよろしいでしょうか。デジタルの組織を設けて何をやるのか説明していただきたい。</p>	<p>昨年デジタル庁ができたことを受けてデジタル化を進めています。ご意見としていただいて持ち帰ります。デジタル化を進めるための検討を行います。</p>
<p>その他</p>	<p>公民館活動として、運動会と芸能発表会の予算だけはしっかりつけていただきたい。</p>	<p>今回は総合計画の方向性についての意見交換会です。予算等の個別の内容については、ご意見を担当課に伝えたいと思います。</p>
<p>その他</p>	<p>将来ビジョンから今回の総合計画になった経緯について、説明していただきたい。</p>	<p>合併後、全国の市町村が総合計画を策定しましたが、自治法の改正等によって、必ずしも総合計画をつくる必要がなくなったという経緯があります。将来ビジョンでは、成長戦略や財政計画、人件費適正化計画などを中に入れた非常に戦略的な内容となっております。昨年の3月、将来ビジョンの切り替わりのタイミングで、佐渡市の最上位計画として、将来的に夢を持てるような明るい計画が必要ではないかという議論を経て、総合計画になったと理解しています。</p>
<p>その他</p>	<p>前回の将来ビジョンの策定のときには、地域の特徴を活かした地域ごとの将来ビジョンも作成しようという話がありましたが、今回はその予定はあるのですか。</p>	<p>両津、相川、国中、南部のそれぞれの地域に合ったエリア別の振興策については、計画自体はなくなってしまいました。策定時に各団体から聞き取りした意見は各課で進められるところから取り組んでいます。今後、地域のビジョンに関連してくる部分として、昨年からの旧市町単位の地域づくりを進めています。支所を中心として地域課題を解決していく枠組みを少しずつ始めていますので、そういった中でお話しただくのも一つかと思えます。</p>
<p>その他</p>	<p>住民は、市が具体的に自治体の施策として何をしてくれるのかを求めています。私たちの意見を各部署に届けていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見は各課にしっかりと伝達いたします。また、各課と協議のうえ、2月下旬に予定している審議会の中で、総合計画にどのように反映していくか検討させていただきます。</p>

その他	佐渡は過疎地域の対象ですか。人口減少については、どのような対策を考えているのですか。	佐渡市は過疎地域に指定されております。社人研の人口推計で、2030年には4万2000人程度に減少するという推定されております。このため、地方創生まち・ひと・しごと総合戦略のなかで、若者の流出を防ぐような取り組みを検討しております。
その他	高齢化率は40%と言われているが、集落が成り立たなくなってしまう。集落をどのように維持していくのか、方針について説明していただきたい。	若い世帯が中心部に移り住むことで、若い人が集落にいなくなるという現象が起きています。集落を維持できるように、地域コミュニティの維持や水道などのインフラの維持も大きな課題だと考えており、総合的に施策の展開を検討しております。
その他	新潟県の離島振興計画と総合計画の関連性について、教えてほしい。	離島振興計画は、佐渡などの離島から要望したことを掲載していただいております。総合計画には、離島振興計画とも整合性がとれた内容を記載しております。
その他	施策の展開について、目標値を達成するための財政面の状況や市民との協働の方針を教えてください。	持続的に取り組めるように総合計画とは別に財政計画を策定しています。職員定数計画の中で、職員の削減を考えています。そこでは、民間との協働も検討しています。
その他	行政のサービスがあるのに、使えない、知らない、という人に手を差し伸べられるようにしていただきたい。	周知も含めて頑張っていきたいと思います。
その他	1年前、費用対効果の関係で両津と小木のクリーンセンターを廃止するという話がありましたが、離島でのごみ処理は行政が責任をもって対応していただきたい。	一年前に一般廃棄物処理基本計画の説明を各地区にさせていただきました。特に両津、南部でごみの収集の拠点施設がなくなるとは困るという意見が多く寄せられ、議会でも取り上げられました。将来的な経費が多額になるのは間違いがないですが、ご意見等も踏まえ、時期については再考することとし、当面の間は現状のままとすることを決めております。将来どこかの時点でまたそういった議論をすることとなると考えております。ご理解をいただきたく存じます。
その他	今までとの違いが見えてきません。具体的な計画への落とし込み、実行力が足りないと思います。どこで持続可能な島づくりをやっていくのか、誰もが生き活きと輝く島という部分はどういう場所で作っていくのか、イメージできませんでした。その他同類意見：1件	総合計画でお示しさせていただいているのは、市が行政運営していくうえで必要となるすべての分野を網羅し、すべての分野において持続可能なまちをつくっていくということが趣旨となっております。この中で実施計画を各課で策定していくという建付けです。基本方針及び施策の柱となる事業を定め、それらに基づき所管課で各実施計画を定めます。それを3年ごとに評価しながら進めていくということです。
その他	体育施設の予約が面倒です。急に明日使いたい時に、前日までに申込用紙を届けてくれと言われますが、スマホやパソコンが普及している時代になぜそんなことになるのか説明していただきたい。	体育施設の利用率が上がらない原因の一つとも考えられます。予約システムについては改善の余地があると思っています。改善の指示をさせていただきます。また、予約システムの導入については、スポーツ施設だけでなく、市施設全体の課題と考えています。今後、デジタル化を推進するなかで、利便性の向上に向け検討してまいります。
その他	新潟県民の所得は全国で何番目なのでしょう。また、佐渡市は新潟県の中で何番目なのか教えてください。	手元に数字がございませんが、低い方の部類ではあったと思います。
その他	佐渡の基幹産業は何だと認識していますか。	まずは、観光関連が最も大きなものだと受け止めています。

その他	総合計画の達成状況をきちんと評価し、担当課長のコメントも入れ公表してほしい。	成果については、これまでの将来ビジョンでも毎年評価をしていただき公表しています。今回においても外部評価もお願いしながら、目標を達成したかどうかも含めて評価の公表をさせていただきます。
その他	90以上の施策の展開がある中で、どれが重要なのか市民に分かるようにしてほしい。	総合計画では、まんべんなく、全体的な方針を示す計画となっています。最上位計画である総合計画の下に紐づく各個別計画は、それぞれに特化し具体的な取組を記載したものとなっています。その中でも横断的、重点的にやらなければいけない5つの項目を重点・横断的な取組項目としてお示ししています。
その他	相川上町の一部を整備した舗装がバラバラになっており、お年寄りがすべって危ない状況です。対応をお願いします。	上町の舗装については、修繕が必要であると認識しており、今後都市再生整備事業で整備する計画となっております。
その他	地域医療の充実について、国の方針・県の方針を受けて佐渡市が見直しを進めていると思いますが、個人的な感覚として、新潟県が冷たいと感じます。県は佐渡の総合的な病院を認めていませんが、もう少し広域的な考え方をしていただきたいです。	医師不足の状況に対応するために、医療再編の重点指定も受けました。国からの財源を活用させていただきながら、佐渡の医療を一体的に協議する場があります。そういう場で佐渡の医療が安定したものになるようにしていきたいと思います。ご意見は担当課に伝えて検討させていただきます。
その他	デジタル化・ペーパーレス化について、健康づくりや介護保険、障がい者福祉に関するしおりが毎年配布されていますが、読みきれないので概要版でいいと思います。資源の無駄遣いだと思います。行政改革としてどう一つ一つ改善していくのか、総合計画の中では何も見えません。	全戸配布について、各課では必要と考えて配布しているものですが、本当にそこまで必要なのかということもあります。デジタル化の世の中ですから、ホームページ等でみれるものについては概要版にさせていただくなどの工夫が必要な段階になってきていると思います。見直しはさせていただきたいと思います。
その他	デジタル化を推進すれば、市民は市庁舎に来なくて良くなってリモートで全て処理できます。デジタル化についていけない人に対しては、エリアを決めて市の担当者がまわってサービスすればいいと思います。少なくとも行政サービスセンターは庁舎の中にあるのではなく、地域に出向いていくべきではないでしょうか。	職員から住民のほうへ出向いてという積極的な提案と捉えました。支所センターは地域の方にできるだけ入って声掛けをする、ということによって現状進めてはいますが、各地区に担当の職員を配置することについては、課題とさせていただきます。仕組みづくりのお話についても、貴重なご意見として承ります。
その他	佐渡は100箇所湧き水があり、そのうち30箇所について県衛生研究所がまとめた小冊子が市に配布されています。災害時に断水した場合、湧き水を活用できるよう、計画の中にしっかり入れていただきたい。	以前タウンミーティングで市長とお話されていたことは存じております。どのように活用できるか、内部で検討させていただきます。